

2021. 7. 9 (金) 竹野地域

会場: 竹野地区コミュニティセンター

「豊岡市立小中学校における適正規模・
適正配置のあり方について」

答 申 説 明 会

豊岡市教育委員会



1

次 第

1. あいさつ
2. 答申の考え方
3. 再編の枠組(案)
4. 今後の進め方
5. 参考
6. 意見交換
7. アンケート

2

1. あいさつ



3

2. 答申の考え方

4

小中学校の**適正規模・適正配置**検討の必要性

- 近年の急激な少子化により・・・
 - ① 同級生がわずか数名
 - ② 複式学級を有する学校の増加等
教育課題が増大
- 2019年に開催した教育懇談会では、保護者から不安の声や、学校統合を望む意見が多くあげられた。



豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会を設置、7回に渡り審議。(2021年2月答申)

5

めざす教育

1. 国の学習指導要領
「**主体的・対話的で深い学び**」の実現
2. 市の教育プラン
コミュニケーション能力や**非認知能力**
(やり抜く力・自制心・協働性)の育成



これからの将来…少子化、グローバル化、AI技術の発達等

子どもたちが多様な世界を生きていくために
必要な能力を身につける必要がある

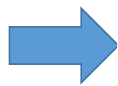
6

課題

1. 小規模校には小規模校の良さがあるが、複式学級が生じる程の極小規模校だと・・・

『小規模校の良さ』 < 『課題』

2. 現在行っている**小小連携の取組**は、事前調整や移動時間等の制約から、これ以上の拡充は難しい



学校規模の適正化 が必要

7

適正規模の考え方

市の実情を考え、

- ①望ましい学校規模（理想とする姿）と、
- ②最低限確保したい学校規模（下限の目安） を設ける

複式学級が生じない

	望ましい学校規模	最低限確保したい学校規模
小学校	12～18 学級 (クラス替えが可能)	6学級以上 (各学年1学級以上)
中学校	9～18 学級 (十分な教員が配置可能)	3学級以上 (各学年1学級以上)
		(小中学校とも、各学年20人程度以上)

8

適正配置の考え方

通学時間と旧市町ごとの**歴史的・社会的背景**に配慮した学校配置とする

- ア 通学時間 概ね1時間以内とする
※遠距離では、交通手段の確保が前提
- イ 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする
- ウ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする

旧市町域内に小・中とも1校は存続させる
(地域の実情により例外あり)

9

小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

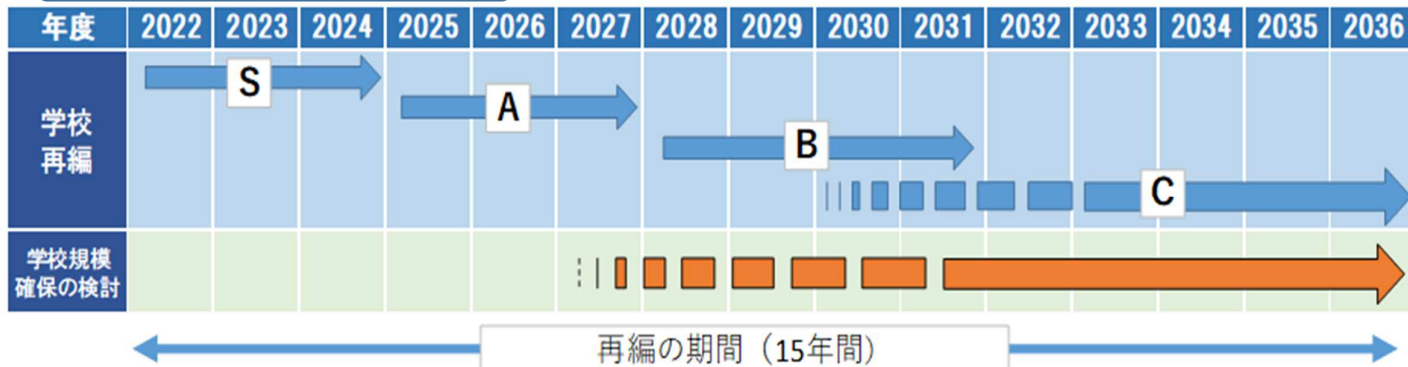
学校再編の手法の検討

検討内容		検討結果	
1	通学区域の見直し	×	● 地域コミュニティの分断に繋がる
2	小規模特認校の導入	×	● 効果は一時的・限定的であり、複式学級の解消にはつながらない ● 逆に近隣の小規模校では児童の流出につながる ● 子どもと地域のつながりが希薄になる
3	学校の統合	○	● 学校統合を基本として学校再編を進める ● 要件が満たされる場合には、 「施設一体型小中一貫校」 を検討

10

小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

再編の期間と優先順位



S : 最優先	<ul style="list-style-type: none"> ・既に複式学級が生じている小学校 ・将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校 ・小規模化による課題が生じている（生じる）中学校
A : やや急ぐ	
B : 5～10年後	
C : 11～15年	

11

3. 再編の枠組(案)

12

竹野地域の再編の枠組(案)

No.	検討対象校	枠組(案)	優先度
1	中竹野小学校 竹野南小学校	竹野小 + 中竹野小 + 竹野南小 ↓ 施設一体型小中一貫校	S 最優先

【考え方】

- 竹野の3つの小学校で再編した場合でも、2030年度の全校児童は110人程度であり、1学年20人に満たない見込み。
- 竹野地域については、施設一体型小中一貫校とすることに適しており※、小中とも教育効果の向上が期待できる。

※小中一貫教育の取組、児童・生徒数が多すぎない、小・中の校舎が設置可能な敷地面積を有すること等 13

施設一体型小中一貫校について

メリット

9年間の
学びを支える
空間

中1ギャップの解消

中学校の教科担任による指導

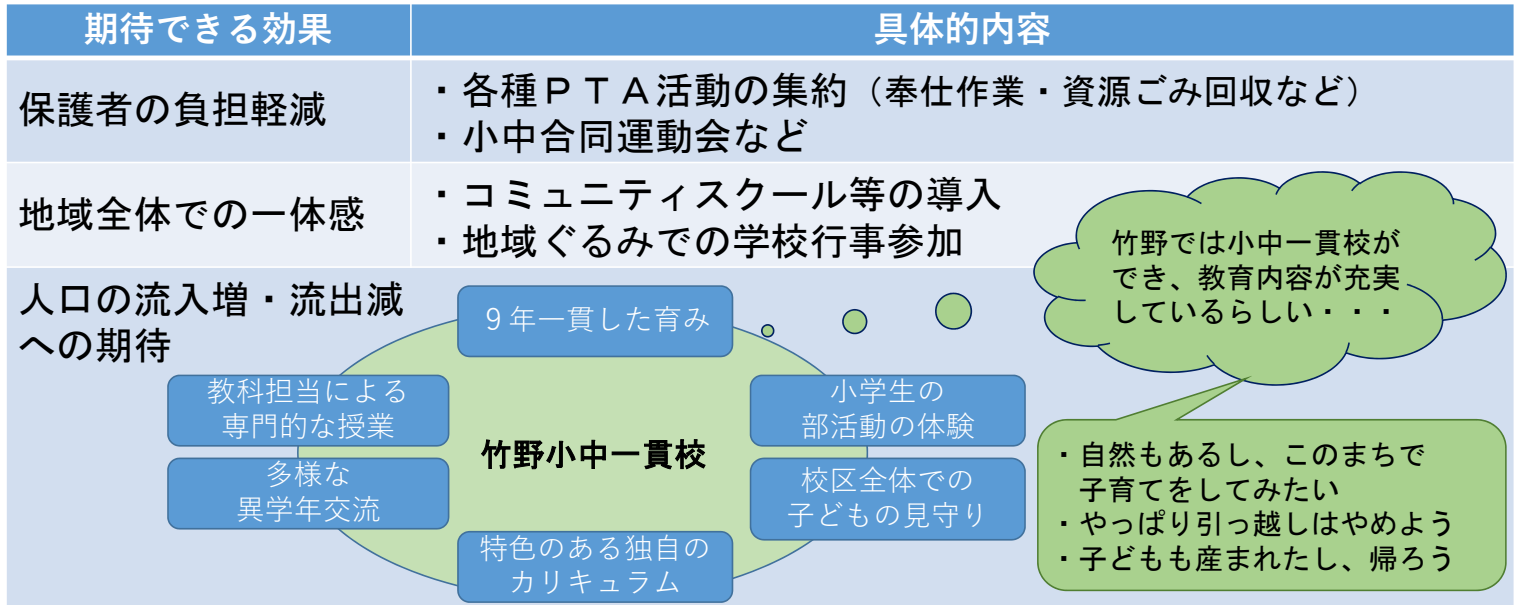
9年間一貫した育み

中学生…上級生としての自覚、思いやり
小学生…中学生への憧れ、目標

独自のカリキュラムの導入
(ふるさと教育、ICT、英語等)

施設一体型小中一貫校について

期待できる地域への効果



施設一体型小中一貫校について

課題と対応方法

課題（一般的なもの）	対応方法等
<input type="checkbox"/> 小中学校が共有する教室（特別教室）、体育館等での使用時間の制約が生じるのでは？	➤ クラス数が少ないため、時間割の調整で対応可能
<input type="checkbox"/> 小中学校における授業時間の違いや低学年の声で集中できないのでは？ （チャイムの設定や授業間の休憩時など）	➤ ノーチャイム制の導入により調整可能 ➤ 休憩時間の違い等は教室の配置や動線計画等で対応
<input type="checkbox"/> 中学生から小学生への悪影響を受けやすくなるのでは？	➤ 一人ひとりに目が行き届く規模であり、小中一貫した指導体制や教員の連携で対応 （上級生の自覚がうまれる効果の方が大）
<input type="checkbox"/> 9年間同じ校舎で生活するため、環境の変化が乏しくなるのでは？	➤ 教室配置の検討などで対応可能 （上級生棟・下級生棟の配置など）
<input type="checkbox"/> 小学校6年生で最上級生とならないことから、責任感が育ちにくくなるのでは？	➤ 行事の工夫や、それぞれに役割を持たせることなどで対応

学校再編を進めるにあたっての審議会からの付帯意見

1. 児童生徒への配慮
2. 通学への配慮
3. 放課後児童クラブ利用者への配慮
4. 魅力ある学校づくり
5. 地域活動の拠点としての活用（学校の跡地利用）
6. その他
 - (1) 豊岡小学校の分散進学の解消
 - (2) I C Tの活用

17

4. 今後の進め方

18

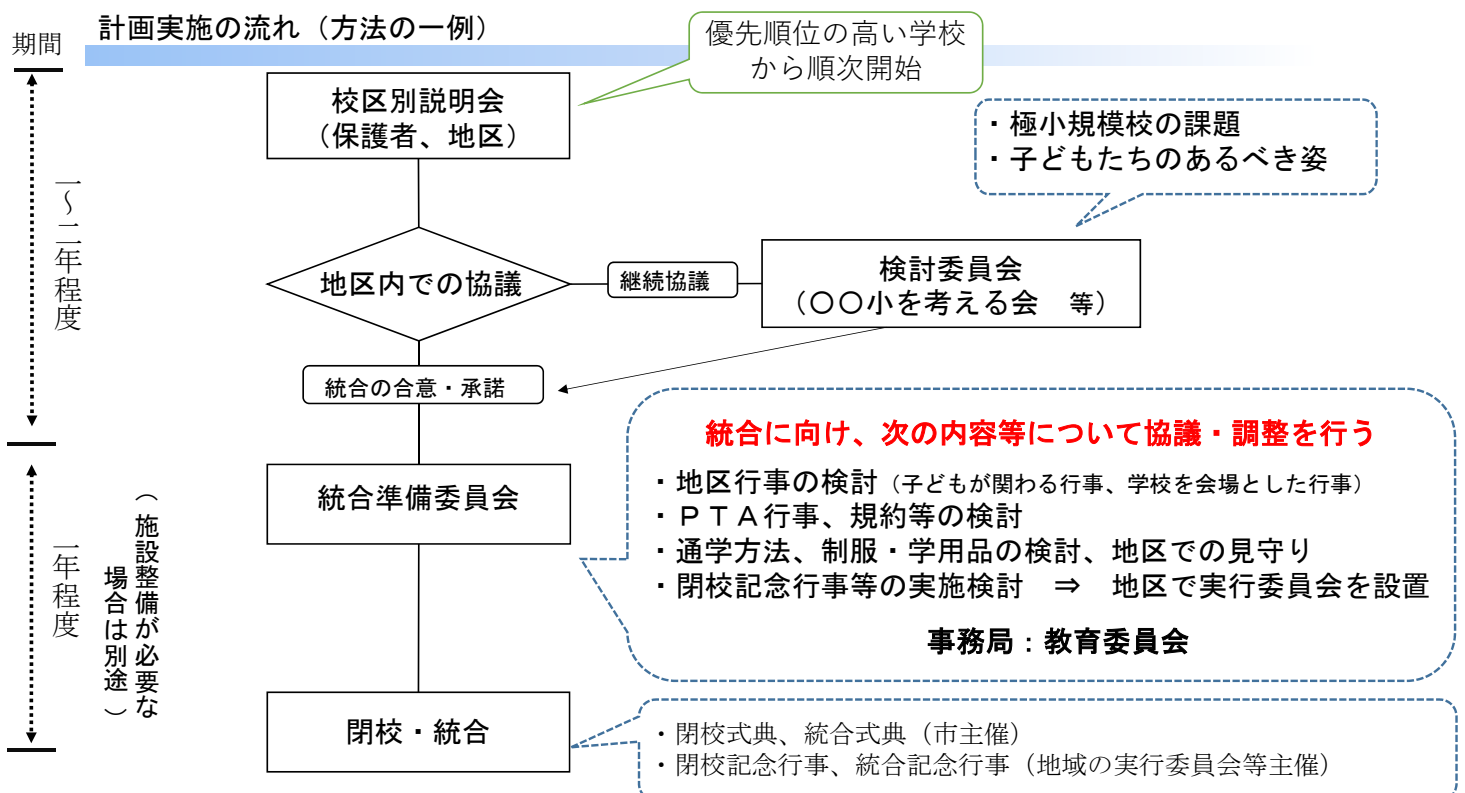
今後の進め方

スケジュール

※太文字は地域住民の意見を聞く場

時期	内容
2021年7月	答申内容の 地域説明会
2021年11月頃	計画(案)の 地域説明会、パブリックコメント
2021年12月末頃	計画策定・公表
2022年1月～	統合に向けた 校區別説明会 (順次)
2022年4月	計画スタート、 地域の検討組織等の設置調整
2023年4月	学校統合(最も早い場合)

19



5. 参 考

21

(参考)地域独自の動き

中竹野小学校 児童数 23人 (3年生児童は0名)
2020年9月に要望書が提出

竹野南小学校 児童数 23人
2021年2月に要望書が提出

2022年4月に竹野小学校に統合予定

※児童数は2021.5.1 時点

22

(参考)港小学校の様子

2021年4月
港東小学校と
港西小学校が統合

大休憩の時間には、みんな
で相談しあって今日の遊び
を決めています



複数のグループで教え合い、
相談し合える教育環境



(参考)港小学校 子どもアンケート

- 人数が増えて、初めてみんなとドッチボールができた。
遊びもできないことができるようになった。
- 趣味の合う友だちが増えた。
- 授業でみんなの案がたくさん出て、考えが広がった。
- 何かを決める時に、一人一人の意見があるから、
なかなか決まらなかった。

